機関紙　たいとう　に
皆様の記事を
お寄せ下さい！

投稿された方に500円のクオカードをプレゼントします。

# たいとう

東京土建一般労働組合
台　東　支　部
〒110-0012　台東区竜泉１－１５－２
Tel　(3876)　1966　Fax　(3875)　5965
(Mail) taitou@tokyo-doken.or.jp
(HP) http://doken-taito.jp
編集　　遠藤　顕寛

## 春闘イエローアクション
## 賃金・単価アップ
## 週休２日制の実現を

**建設労働者の賃金・単価引き上げや週休２日制確保などの待遇改善を求めて建設労働者２・６に春闘イエローアクションがニッショウホールで開催され約４００名が参加しました**

主催者の建設首都圏共闘の松本議長から「人手不足が深刻化しているが、現場の賃金・単価が改善していない。若者が安心して働ける建設産業を実現しよう。」と訴えました。来賓の挨拶の後に、大坂恭子弁護士の記念講演では現在の国内問題として議論されている「外国人労働者の受け入れ」についてです。昨年１２月８日入国管理法の改正に伴い、難民認定法及び法務省設置法の一部を改正する法律案が参議院で可決し、外国人労働者の受け入れ拡大のための新しい制度が２０１９年４月から始まります。

国内の深刻な人手不足は製造業、サービス業、建設業等幅広い職種にわたっています。論理的には人手不足の業種に外国人労働者が入職すれば数字的には解消することに繋がります。しかし受け入れ方に関する法整備が整っていないのが現実です。まず言葉の問題です。国は全国に施設を造り日本語教育を行うと言っているが、施設や人材については地方自治体に丸投げで、自治体には予算も無ければ教育する人材をどう確保して良いのか頭を抱えている。国から資金の援助も決まっていないなかでこの制度は４月から施行されるのです。

建設業界はここ数年前年を上回る営業利益を上げています。しかし建設労働者賃金は数％の賃上げに留まり、このままでは若年層の離職がますます進み高齢化が進んでいきます。日本は今後人口が減少する中、建設業の人材確保には賃金の底上げや週休２日等の処遇改善が不可欠となっています。

最後に建設業で働く仲間からの報告では、埼玉土建の女性の大工は東日本大震災の被災者で有り、福島原発の避難者でもありますが、大工仕事がとても楽しく前向きに考えている方でした。一方で丸ノ内３－２計画の現場では給排水配管に従事していた方からの報告では劣悪な労働環境の改善が東京土建を始めとする組合の交渉により改善され、あきらめてはいけないとうれしい報告もありました。

決起集会終了後新橋駅前のＳＬ広場に移動し黄色い軍手を身に付け宣伝行動をしました。

## 税務署交渉

毎年恒例の税務署交渉を浅草民商・台東民商・台東区労連の共同主催団体４団体で２月20日に東京上野税務署と浅草税務署それぞれ行いました。

毎年３・13の事前打ち合わせを兼ねた交渉にもなっていますが、今年は10月の消費税増税が予定されていることもあり、税務調査の事前通告の徹底、調査理由の開示の要求、第三者の立ち合いの排除をやめる事に消費税率引き上げの中止を求める件、共通番号に関してという例年の申し入れの他、今年は適格請求書保存方式の導入による免税業者を取引から排除し、課税事業者を選択せざるを得ない状況に追い込まずに導入をしないでもらいたいなどに関して要請と申入れを行いました。

**東京上野税務署で交渉する実行委員**

※３・13重税反対台東区民集会は３月13日月曜日午前10時半集合で浅草税務署申告は蔵前公園にて、東京上野税務署申告は税務署前の上野公園不忍池畔で行います。集会後はそのまま集団申告に両税務署へ行きます。庶民増税反対を訴えにみんなで集団申告に参加しよう！！

## 東京土建台東支部
## 第六二回定期大会　告示

第62回台東支部定期大会にあたり、組合規約にもとづき支部役員職について、次のとおり告示します。

２０１９年３月12日
大会選挙管理委員会

| | |
|---|---|
| 執行委員長 | １名 |
| 副執行委員長 | ４名 |
| 書記長 | １名 |
| 書記次長 | １名 |
| 常任執行委員 | 11名 |
| 会計監査 | ２名 |

執行委員各分会　４名

**【　立候補受付期間と場所　】**
平成31年３月25日
午前10時から
平成31年４月８日
午後９時まで
場所・台東支部会館２階

**【　大会告示　】**
東京土建一般労働組合台東支部第62回定期大会を下記により開催します。

**【　会場　】**
日時
平成31年４月14日（日）
午前９時30分開会
場所・台東区民会館８Ｆ

**【　代議員　】**
各分会基礎代議員３名。15名に１名の割合で各分会に通知します。特別代議員は50人以下１名、百人未満２名、百人以上３名とします。

## 五重塔

ニホンかニッポンか「日本」の正しい読み方は？

東京の日本橋はニホンバシで、大阪はニッポンバシ。そこで問題となるのが国号の読み方。

日本という国号が定まったのは、大宝年間（７０１～７０３）のころ。

ただし当時は「やまと」呼んでいた。

それを「ニホン」と読むようになったのは奈良時代に入ってからで、室町時代には、「ニホン」に加え「ニッポン」の読み方も戦国時代は「ニッポン」が多かったという。

近代に入り、読み方を統一しようという動きがあったものの、法的に決定するまでにはいたらなかった。

その意味では「ニホン」も「ニッポン」もどちらも正しかったことになり、日本酒などは、日本刀・日本画・日本酒などは、ニホンと読むことに、その読み分けは慣習によることが多い。ちなみにかつての社会党はニッポンで、共産党はニホンが正しいとの事。

（E）

# 春闘総決起集会
## 8500人が集合

2019年年国民春闘総決起集会が、1月30日（水）19時より杉並公会堂にて行われました。当日は大変寒かったのですが台東区より1時間以上かけて参加しました。

萩原国民春闘事務局長は、「安倍政権がすすめている沖縄辺野古新基地問題、不誠実な国会への対応、偽りの統計による経済・消費税問題、働き方改革、改憲への執念を市民と野党の強固な共闘で終わらせよう」と開会挨拶を行いました。

基調提案は、昨年から今年に掛けての様々な取り組みを基に今年の春闘に臨む構えを野村幸裕国民春闘共闘事務局長が「建交労の活動、医労連の取り組みや、国会前での仲間の訴え」等をまとめたビデオを上映しながら解説し展望を指し示しました。

続いて、決意表明に移り、8団体の組織・仲間の組合が日頃の取り組みや訴えを表明しました。それに対して共感の拍手が会場を包みました。さらにある放送局の番組である「チコちゃんに叱られる」を模した寸劇が披露されると会場は、拍手と笑いで盛り上がりました。

東京土建は、各支部旗を持って壇上に上がり最大勢力を誇示してきました。（三多摩地区の支部は別日の決起集会に参加します。）

各団体が決意表明を終えた後、集会アピールの提案がされ参加者の大きな拍手で採択されました。続いて行動提起が松森陽一春闘共闘会議副代表から有り、これも参加者からの大きな拍手で確認しました。

小田川義和さんから閉会の挨拶を受け参加者全員での「団結がんばろー」で散会となりました。

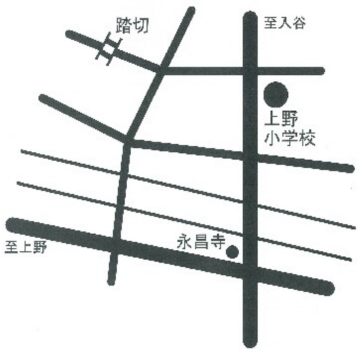
春闘総決起集会に参加すると仲間の労働組合が大変な中にもかかわらず、笑顔を忘れずに活動をしていることに共感を覚えます。

## つれづれなるままに

### 区内見所散歩

台東区は東京23区で一番小さい面積ですが意外に史跡などが多いように感じます。銀座線稲荷町駅付近のこんなところ知っていますか？

駅そばの交番脇から入れる永昌寺知っていますか。ごく普通の寺だけれども。なんと、講道館柔道の発祥の地なのです。が、お寺の正門側には何も説明がないので気が付きにくいです。交番脇には説明看板があり庭には石碑が立っています。外国人旅行者が探している事もあるので覚えていてね。




永昌寺を出て清洲橋通りを入谷方面に行ってスーパーマルエツ前の上野小学校（旧清島小学校）へ。ここは分かり難いけど「ゴム工業発祥の地」の石碑が立っています。昔はもっとわかり易い場所にあったと思うんだけど校舎の建て替えの時に端に寄せられたみたいです。知ってましたか？

スーパーマルエツの角を左折、上野駅方面にしばらく歩くと遠藤委員長の仕事場があります。じゃなくて電車の踏切があります。ここの踏切台東区内で唯一だと思うのだけど、それは重要ではなく、地下鉄銀座線の踏切だということが大事です。銀座線の車両は此処から地下に潜っていくのですね～。ここにいれば普段は見れない所まで銀座線車両を見ることができます。夕方なら踏切脇に居酒屋があるので踏切の音を聞きながら飲めますよ！

この3ヶ所は15分もあれば歩けるので行ってみれば～。

松が谷分会
寺山　邦裕

初台のオペラシティで、2月21日に「事業所セミナー」と「賀詞交歓会」が本部主催で開催され、支部からも電気工事会社の事業主と役員・書記が参加しました。

# 賀詞交換会＆キャリアアップセミナー

セミナーでは今話題の「建設キャリアアップシステムの構築と政策展開」と題し、キャリアアップシステム事業推進センターの研究部長東氏の講演がありました。システムの構築に関する経過や現在の到達点、より始まっています。「麹町5丁目建設プロジェクト」で、カードリーダーに労働者がカードをかざして現場へ入場する模様も紹介されました。

質疑応答では登録した技能者の情報の取り扱いや、外国人労働者の登録についての質問が出され、より理解を深めることが出来ました。

またセミナー終了後の賀詞交歓会では、参加した事業主の名刺交換も熱心に行われる様子が見られました。日頃はあまり接点のない職種や他支部との交流にお酒も進み、話が盛り上がる中で、仕事の約束を取り付けた参加者もいたようです。

技能者の能力評価基準などの説明がありました。

都内の一部の現場では大手ゼネコンを中心とした限定運用が1月

# ライトシルバー研修旅行

2月9日～10日に鬼怒川温泉一泊の研修旅行に行きました。今回女性5名、男性10名と賑やかな旅行となりました。12時30分発鬼怒川温泉行のスペーシアに乗車し、楽しみの一つの車内での弁当と飲物で2時間のコミュニケーションタイム。ホテルに到着し新年度の行動や予定の会議を開催。入浴後は楽しみにしていた懇親会で盛り上がりました。楽しい賑やかな思い出に残る旅行でした。

ライトシルバー会長
小宮利夫

# キャリアアップ登録申請

建設キャリアアップが今年の4月より本格稼働します。数社の事業所に聞いてみましたが、認識している事業所はほんのわずかですが、モデル現場として登録を促進している現場もでてきています。

登録に関しては事業所で登録しているところもあります。登録は事業所登録した後に、ID番号が付与されます。その後、従業員登録となります。事業者登録は社会保険・労災保険・建設業許可・建退共等の加入者証等を添付します。

技能者登録は個人の情報をすべて登録します。この間台東支部でも2事業所と7人の技能者登録を本部を通じて登録しました。

事業者登録は添付書類は比較的少なめです。技能者登録に関しては個人の社会保険の他に様々な資格も登録します。これが非常に大変な作業となります。先日登録した方は20種類程の資格があり、該当するコード番号を探すのが大変でした。

もちろん添付する書類は明確に判断できることはもちろんな事ですが、添付書類を集めるのも大変な作業となります。